

「古事類苑」識別タグ仕様

- A 部名（各部の見出し部分）
- B 門名（各門の見出し部分）
- C 項名（各項の見出し部分）
- D 目名（各目の見出し部分）
- Q 細目名（各細目の見出し部分）
- S 詳細
- T 内訳

- G 概説（門名に続く文章）

- V 引用書名
- N 編目位置（引用書名分）
- H 資料本文（引用書名分）

- W 参考資料名
- M 編目位置（参考資料分）
- X 資料本文（参考資料分）

- P ページ
- # コメント

古事類苑

A 天部一

B 天

G 天ハアメ、又ソラト云ヒ、字音ニテテント云フ、又虚空ト稱ス、此篇ニハ天ニ關スル傳説、及ビ

天上ヨリ異物ヲ降シ、空中ニ聲アルガ如キモノヲモ並載セリ、

名稱C

V 類聚名義抄抄天ハ堅反ナリ、タカシ

W 段注說文解字一、天、顛也、始此以同部疊韻爲訓也、凡門聞也、戸護也、尾微也、髮拔也、皆此例、凡言元

以爲凡高之稱、始者女之初也、蓋求義則轉移皆是、舉物則定名難假、然其爲訓、則一也、顛者人之頂也、天是也、至高無上、从一大、意合二字、以成語、如一大人言止戈、皆是、他前書爲會意、凡會

爾雅註疏五、釋天第八疏、天河圖括地象云、易有太極、是生兩儀、兩儀未分、其氣混沌、清濁既分、伏者顛也、至高無上、從一大也、春秋說題辭云、天之言顛也、居

古事記仁下、此時其夫速總別王到來之時、其妻女鳥王歌曰、比婆理波、阿米迦加氣流、多迦由玖夜、波夜夫佐和氣、佐邪岐登良佐泥

神代直指抄一、あめつちといふは、本朝最初言語音聲のはじめにあめといひて、たかき義ひろき

義、たふとき義のぼる義、四義そなはりて、陽道の義をあらはす、あめをゑといふ、ゑは、開聲にて、う

ゑの義也、略中のちに、雨をあめといふは、天よりふるゆへに、天のことばを、そのまゝかりていふ、

天部一

天

P 一